

原子力・エネルギー教育支援事業交付金

1. 交付金事業の名称 原子力・エネルギー教育支援事業交付金事業

2. 交付金事業の事業主体 福井県

3. 交付金事業の実施場所 福井県

4. 交付金事業の概要

原子力・エネルギーの学習に必要となる以下の内容を実施した。

【県事業】

(1) 実験器具・実験材料の整備

原子力発電実験模型・L字型溶接試験片等を整備し、原子力発電・原子力安全工学の学習に活用した。

(2) 施設見学の実施

若狭湾エネルギー研究センター、美浜町エネルギー環境教育体験館「きいばす」等を見学した。

(3) 講演会の実施

有識者による原子力・放射線、発電・エネルギーに関する講演会を実施した。

【市町村事業】（福井市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、越前町、美浜町、若狭町）

(1) 実験器具・実験材料の整備

放射線測定器を整備し活用した。

(2) 施設見学の実施

美浜町エネルギー環境教育体験施設「きいばす」等を見学した。

5. 交付金事業に要した経費及び交付金充当額

事業に要した経費 31,064,152 円

交付金充当額 31,064,152 円

6. 交付金事業の成果及び評価

当事業により原子力・エネルギーについて児童・生徒等の理解が促進されたと回答した割合【理解度】は、実験器具・実験材料の整備事業が目標 90%に対して実績 84%、施設見学事業が目標 90%に対して実績 72%、講演会事業が目標 90%に対して実績 73%だった。原子力・エネルギーに関する教育のための環境整備として当事業が促進されたと回答した割合【満足度】は、実験器具・実験材料の整備事業が目標 85%に対して実績 94%、施設見学事業が目標 90%に対して実績 86%、講演会事業が目標 90%に対して実績 100%だった。今年度、施設見学事業や講演会事業への【理解度】の数値が目標値を 17~18%下回っている。昨年度までの実績数値の算出は、1つの課の実績をもとに算出していたが、今年度から事業を実施した全ての課の実績数値を合わせて算出するように改善したことにより、より現実に即した数値になったと考えられる。今後はこの数値をもとに目標値を見直し、施設見学や講演会を実施する際に、エネルギー関連施設の仕組みや特徴、エネルギー利用の状況等について学ぶ意義を感じさせながら、施設見学事業や講演会事業を行い理解を促していく。

本事業を実施したことにより、原子力・エネルギーに関する教育のための環境整備として実験器具・実験材料の設備、施設見学、講演会事業が促進されたと評価できる。